

(様式第4号)

指定管理施設自己評価・内部評価・外部評価シート

評価対象年	令和5年度	令和5年4月1日	から	令和6年3月31日	まで
施設名	秦野市里山ふれあいセンター	指定管理期		令和2年4月1日	から 令和7年3月31日
指定管理者	秦野市森林組合	施設所管課		環境産業部森林ふれあい課	

【自己評価及び内部評価の基準】
3 協定書、仕様書等の要求水準を上回っており、優れた点がある。
2 要求水準を満たしている。
1 要求水準を概ね満たしているが、一部課題がある。
0 要求水準を下回っており、改善指導等が必要である。

【外部評価の考え方】
《大変良好》 管理・運営は大変良好で、また優れた取組みの成果がある。
《良好》 管理・運営は良好である。
《概ね良好》 管理・運営は概ね良好であるが、その一部に課題がある。
《要改善》 管理・運営に課題があり、改善が必要である。

I 施設の維持管理					
項目	評価視点	配点	自己評価	内部評価	履行状況
施設の維持管理	協定書や仕様書等に従い、設備・機器等の保守管理が適切に行われ、利用者が安全で快適に利用できる状態が保たれている。	3	3	2	【自己評価】 前年度、良好と評価を頂いた維持管理体制を継続し管理を行っている。巡視時に駐車場のフェンスが老朽化していることがわかり、迅速に修繕を実施した。また、省エネ対策としてLEDの活用や専門業者によるエアコンのダクト清掃等により電気代の節電に貢献できたと考えられる。
施設の修繕	協定書や仕様書等に従い、指定管理者で行う修繕が適切に実施されている。	3	3	3	
清掃・衛生管理	協定書や仕様書等に従い、清掃・衛生管理を適切に行い、施設が清潔に保たれている。	3	3	3	
備品の管理	備品及び附帯設備等が適切に管理されている。	3	3	3	【内部評価】 令和4年度に引き続き、協定書及び仕様書に沿って定期的な点検や清掃を行い、利用者の快適な環境づくりを心掛けていた。木工実習室や研修室は整理整頓され、貸出物品の維持管理についても、利用者の利便性の向上及び安全な環境づくりに努めていた。
第三者委託	第三者への委託に係る取扱いは、協定書や仕様書等に基づいた適切なものである。	3	2	2	
環境配慮	省エネやリサイクル等、環境に配慮した取組みを行っている。	3	3	3	
小計		18	17	16	

2 施設の運営					
項目	評価視点	配点	自己評価	内部評価	履行状況（内部評価）
設置目的等の理解	施設の設置目的や役割、協定書や仕様書等の内容を従事者全員が理解し、運営している。	3	3	3	<p>【自己評価】</p> <p>秦野産材の積極的な活用や伐採現場の見学体験・指導等をつうじ地域林業の活性化及び森林・林業理解の促進に努めた。自主事業の開催回数については、講師、他指定管理者との調整不足により開催ができず前年を下回る結果となった。また、市役所・市内ボランティア団体等の施設の利用、木材加工の手助けにより連携を図った。前年度指摘をされた、個人情報のマニュアルへの記載はマニュアルを更新し周知し対応した。</p> <p>【内部評価】</p> <p>秦野産材を活用した木工製作や伐採現場の見学など市民に対する森林、林業の理解を深める自主事業を実施した。自主事業における参加人数は令和4年度よりも増加しているが総合的な施設の利用人数、利用料については減少した結果となった。</p> <p>個人情報についての取り扱いについてもマニュアルへ記載し、利用者が安心して利用できる体制を整えていた。</p>
サービス提供	施設の設置目的と協定書や事業計画書等に沿ったサービスの提供を実施している。	3	2	2	
自主事業の成果	施設の設置目的に沿った自主事業が実施されており、またそれは利用者サービスの向上につながっている。	3	2	2	
個人情報の漏えい防止	個人情報を適切に管理し、漏えい等の防止策を講じている。	3	2	3	
地域との関わり	地域や関係団体と連携し、魅力ある施設づくりに取り組んでいる。	3	3	3	
市内事業者の活用等	市内事業者の活用や市民の雇用など地域への貢献がなされている。	3	3	3	
使用の承認並びに利用に係る料金の収受	協定書や仕様書等に従い、適正に利用の許可及び利用料金の収受が行われている。	3	2	2	
	小計	21	17	18	

3 危機管理対応					
項目	評価視点	配点	自己評価	内部評価	履行状況（内部評価）
事故発生時の対応	緊急事態発生時において、遅滞なく適切な処置を行うことができる体制となっている。	3	2	3	<p>【自己評価】</p> <p>事故発生時や防止の対応は前年を継続し対応している。また、令和5年度も無事故で運営できた。</p> <p>【内部評価】</p> <p>指導員を常時配置し、事故防止に努めている。業務マニュアルで事故発生時や緊急時の対応を記載し情報の共有に努め、令和5年度中の事故発生件数は0だった。</p>
事故防止の対応	事故等を防止するために、日頃から積極的に取り組んでいる。	3	3	3	
	小計	6	5	6	

4 指標の達成状況・改善の取組み

項目	評価視点	配点	自己評価	内部評価	履行状況（内部評価）
指標の達成状況	（指標を設定している場合）指標の達成状況は適当である。	3	1	2	<p>【自己評価】</p> <p>令和5年度の外部評価で指摘のあった駐車スペースの件は、案内看板の設置、ロープの張り直しを近日中に施工を予定している。また、木工実習室の利用者数が前年度を下回り目標人数を達成することができなかった。イベント開催の際、施設のPR等に努めたが効果は見られず令和6年度、SNS・広報媒体の特集記事の掲載等を検討し利用人数の増加を目指したい。</p>
改善の取組み	本市の点検や評価による指導等について、適切な改善が行われている。	3	2	2	<p>【内部評価】</p> <p>年度の事業指標に基づき、事業が開催されている。改善が必要な事項についても市と密に連絡を取り合い、対応している。木工実習室における利用者数が令和4年度よりも減少した結果となっているが、自主事業における参加者数は、令和4年度が541人だったのに対し、令和5年度は592人で51人増加しており、自主事業による施設の認知度向上に努めていた。</p>
	小計	6	3	4	

5 サービス向上の取組み

項目	評価視点	配点	自己評価	内部評価	履行状況（内部評価）
利用者への案内	利用者への案内は、誰にでもわかりやすいものとなっている。	3	2	2	【自己評価】 前年度、良好と評価を頂いた維持管理体制を継続し管理を行った。アンケートの結果からも不満や苦情は指摘されていない。しかし利用促進については前年度の利用者数を下回り課題が残る結果になった。
利用しやすい環境整備	利用者にとって、利用しやすい環境整備に取り組んでいる。	3	3	3	
業務の標準化	業務マニュアル等を整備し、利用者対応にばらつきがないよう業務が標準化されている。	3	3	3	
待遇	利用者等に対して不快感を与えない適切な待遇が行われている。	3	3	3	
アンケート結果	利用者アンケート等の結果は、満足度の高い評価となっている。	3	3	3	【内部評価】 貸出物品の定期的な点検と整理整頓、施設内の定期的な清掃がされており、マニュアルに沿って適切な施設管理、運営が安定して行われている。自主事業開催回数は令和4年度より1回多い36回実施したが、季節に合わせた木工教室や利用者の要望に合わせて好評だった企画を再実施するなど、丁寧なサービスが行われた。その結果、アンケート回答者数は令和4年度が96人だったのに対して、令和5年度は207人から回答を得ており111人増加しているが、サービスについての不満がなかった。
サービスの質の向上	利用者の意向等を定期的に確認し、継続的にサービスの質の向上に取り組んでいる。	3	3	3	
施設の利用促進	パンフレット作成やホームページの更新などを工夫し、施設の利用促進に取り組んでいる。	3	3	3	
苦情等への対応	利用者からの苦情や要望等に対して、必要な改善に取り組んでいる。	3	3	3	
小計		24	23	23	

6 収支状況

単位：千円

項目	年度	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和 年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	決算
収入	指定管理料	7,325	7,325	7,325	7,325	7,325					
	利用料金	380	318	380	289	380					
	自主事業	555	1,076	555	1,882	720					
	その他	0	61	0	0	0					
	計	8,260	8,780	8,260	9,496	8,425					
支出	人件費	4,100	4,295	4,200	4,681	4,300					
	維持管理経費	3,300	3,290	3,160	3,401	3,310					
	自主事業	840	1,163	880	1,245	720					
	その他	20	32	20	169	95					
	計	8,260	8,780	8,260	9,496	8,425					
総計（収入－支出）		0	0	0	0	0					

項目	評価視点	配点	自己評価	内部評価	履行状況（内部評価）
適正な 予算執行	収支計画に基づき、予算の範囲内で効果的・効率的な予算執行が行われている。	3	2	2	【自己評価】 前年に引続き依頼品が増加し、収入・支出の面で予算額を上回る結果となった。支出の維持管理費については、LED化の効果、水道・ガス料金の物価高騰対応支援で光熱水費の経費が大幅に削減できた。また、インボイスの関係で申請書等を新規で作成しており維持管理経費が増加した。
経費の効率化	経費削減に向けた取組みを行い、またその内容は効果的なものである。	3	3	2	【内部評価】 月別の報告書において領収書の添付及び収支の内訳が漏れなく報告されており、適正に収入と支出がされていることが確認できたが、指定管理者独自の経費削減に向けた取組みは見られなかった。
小計		6	5	4	

7 令和4年度 自己評価及び内部評価結果				
項目	配点	自己評価	内部評価	
1 施設の維持管理	18	17	16	
2 施設の運営	21	17	18	
3 危機管理対応	6	5	6	
4 指標の達成状況・改善の取組み	6	3	4	
5 サービス向上の取組み	24	23	23	
6 収支状況	6	5	4	
合計	81	70	71	
配点に対する割合		86.4%	87.7%	

8 全体を通しての所見	
指定管理者所見	施設所管課所見
施設の設置目的である秦野産材の積極的な活用に努め、林業現場の見学・体験を企画し、森林・林業の理解を促進した。しかしながら、利用者が減少しており課題が残る結果となった。改善策として令和6年度、SNSの活用、広報媒体に特集記事を掲載する等のPR活動に力を入れ、魅力的な自主事業の企画を計画して利用者数の増加を狙いたい。	1年間通じて適切に施設の管理、運営がされていた。多様な自主事業の実施や工夫が行われたが、総合的な施設利用者数の減少、利用料収入の減少がみられ、利用者の定着に向けた取組みが求められる。林業現場や林道を活用した自主事業の開催や安全に配慮したサービスの提供や備品の管理など、森林組合ならではの知識や強みを活かして、森林林業への理解を深められる施設管理及び運営に努めることを求める。

9 内部評価に対する外部評価	
外部評価	外部評価に係る意見
良好	管理運営実績や指定管理者からの説明などにより、施設の適切な管理運営が行われていると評価する。 地域情報誌との連携やウェブサイトの閲覧数を増加させる工夫をし、施設の認知度向上に努めるよう求める。